



Linking your dreams
リンテック株式会社

2022年3月期第2四半期 決算説明資料



2021年11月17日
リンテック株式会社

2022年3月期第2四半期 連結業績の概要①

'21/3月期 第2四半期 累計	'22/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

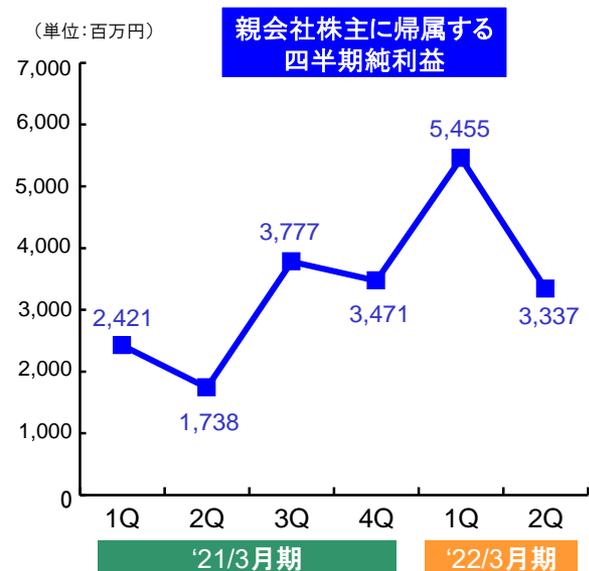
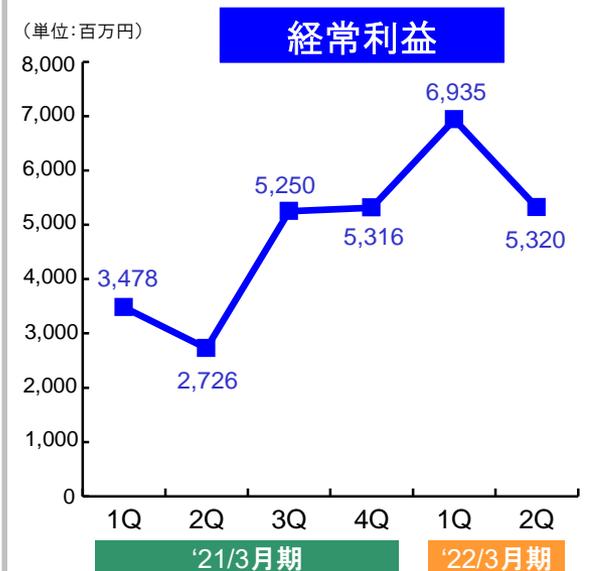
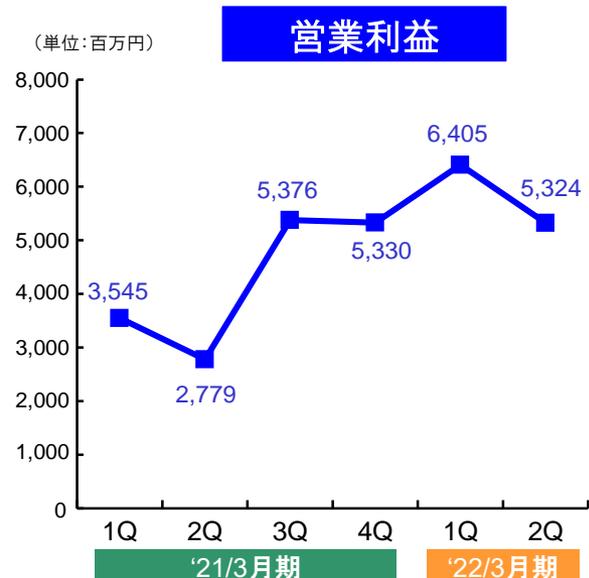
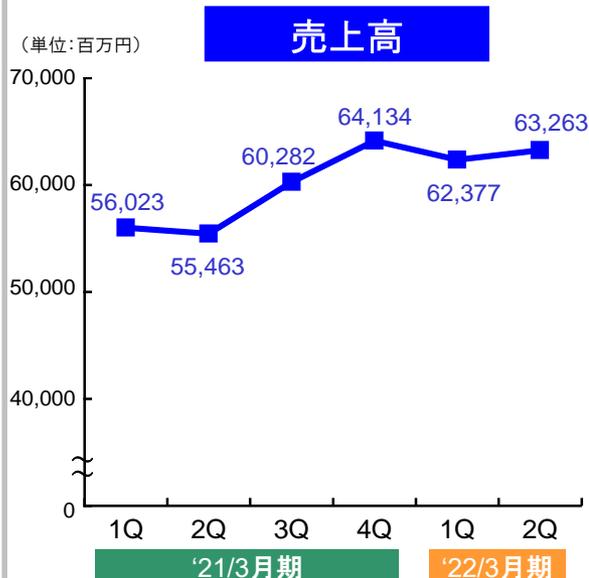
売上高	111,486	125,640	14,154 (12.7%)
-----	---------	---------	-------------------

営業利益	6,324	11,729	5,404 (85.4%)
------	-------	--------	------------------

経常利益	6,204	12,255	6,051 (97.5%)
------	-------	--------	------------------

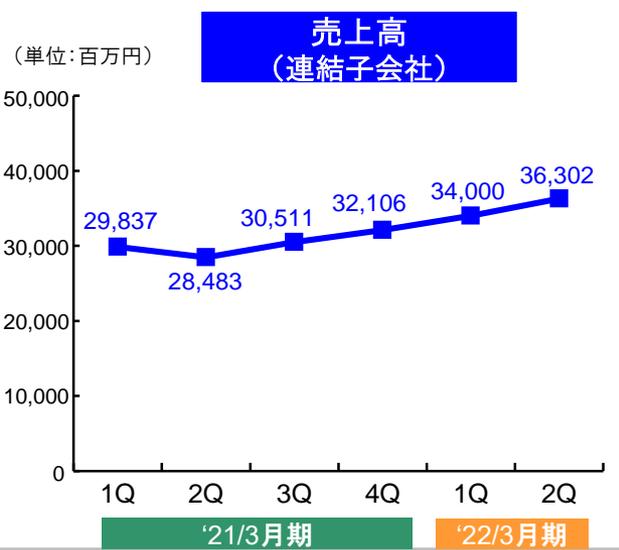
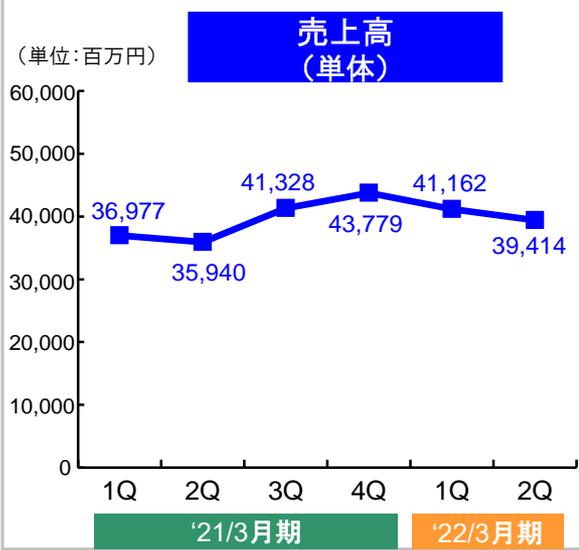
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,159	8,792	4,633 (111.4%)
------------------	-------	-------	-------------------

※2022年3月期第2四半期は収益認識会計基準適用後の金額となっております。増減額および増減率は参考値として記載しております。
収益認識会計基準の適用による売上高の減少額は62億円となりました。

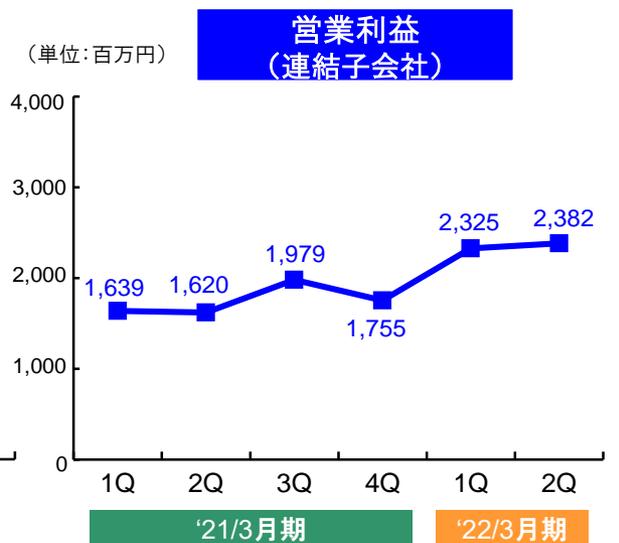
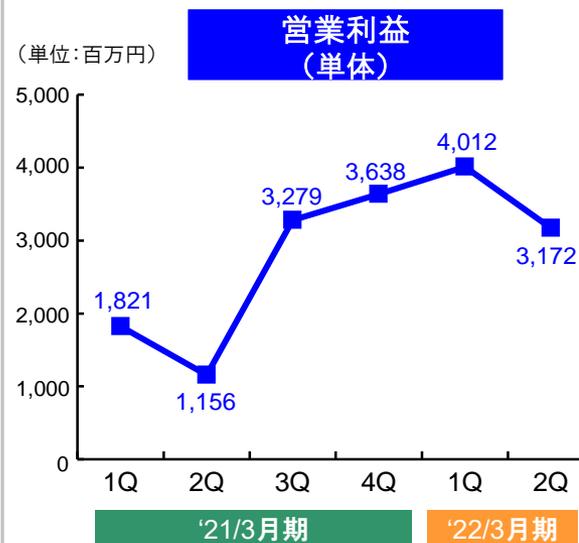


2022年3月期第2四半期 連結業績の概要②

	'21/3月期 第2四半期 累計	'22/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
単体	72,917	80,576	7,659 (10.5%)
連結子会社	58,320	70,302	11,982 (20.5%)
消去	▲19,751	▲25,238	▲5,487
計	111,486	125,640	14,154 (12.7%)



	'21/3月期 第2四半期 累計	'22/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
単体	2,977	7,184	4,207 (141.3%)
連結子会社	3,259	4,707	1,448 (44.4%)
消去	88	▲162	▲250
計	6,324	11,729	5,404 (85.4%)



※2022年3月期第2四半期累計は収益認識会計基準適用後の金額となっております。増減額および増減率は参考値として記載しております。

➤ 売上高

● 単体

アドバンストマテリアルズ事業部門が半導体・電子部品関連製品の好調な需要に支えられ順調
その他の事業部門もコロナ禍の影響を大きく受けた前年同期に比べ需要回復により総じて堅調

● 連結子会社

アドバンストマテリアルズ事業部門の販売子会社が堅調
印刷・情報材、産業工材事業部門の米国、中国、アセアン地域の子会社が、コロナ禍の影響を大きく受けた前年同期に比べ回復

➤ 営業利益

● 単体

(主な増益要因)

販売数量の増加、売上構成の改善	約 49 億円
その他（原価低減効果など）	約 6 億円

(主な減益要因)

パルプ、石化原材料価格などの上昇	約 8 億円
固定費の増加など	約 5 億円

● 連結子会社

アドバンストマテリアルズ事業部門の販売子会社
および印刷・情報材、産業工材事業部門の米国、
中国、アセアン地域の子会社の増収効果などにより
増益

【期中平均為替レート(実績)】

	('21/3 2Q)		('22/3 2Q)
円/US\$	108.24	→	108.45
円/1-円	119.40	→	130.46
円/WON	0.0895	→	0.0969
円/中国元	15.32	→	16.76
円/台湾\$	3.61	→	3.88

2022年3月期第2四半期 印刷材・産業工材関連の概要①

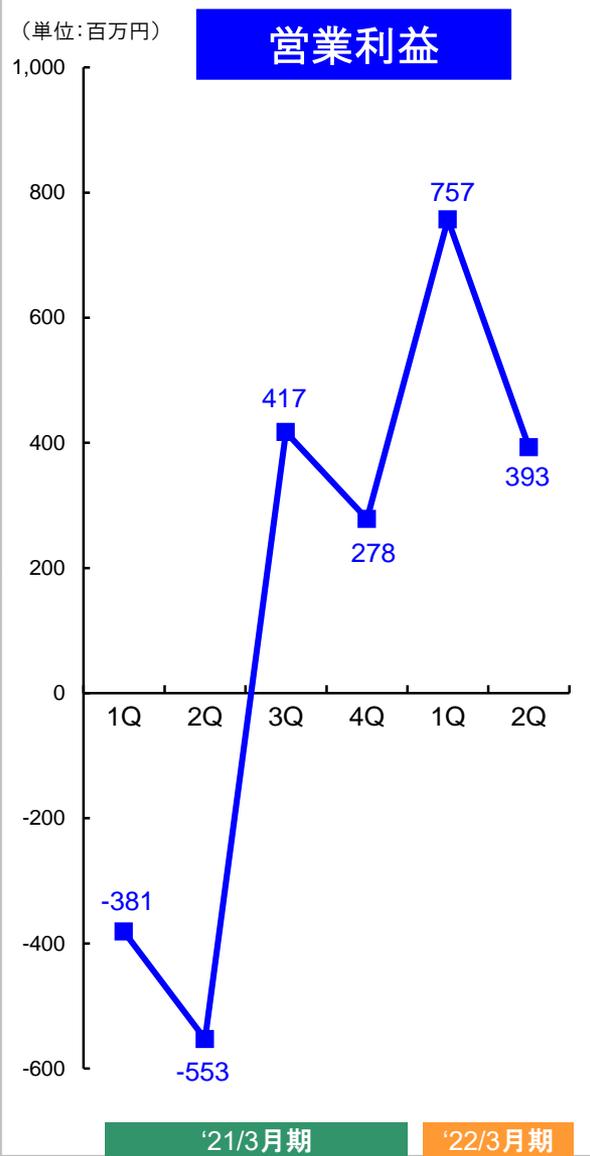
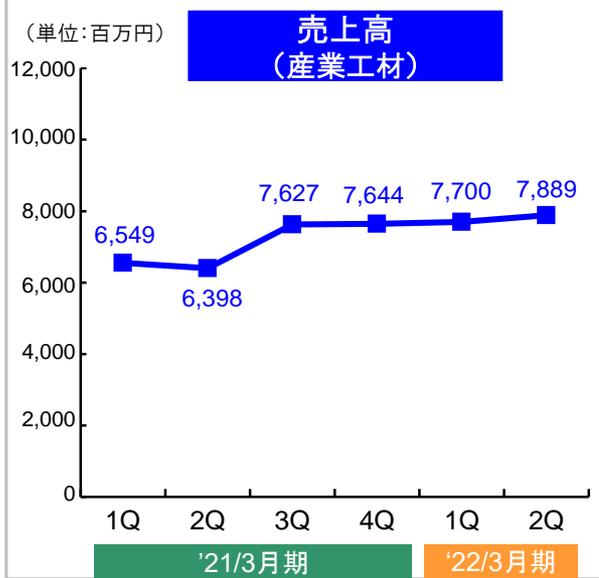
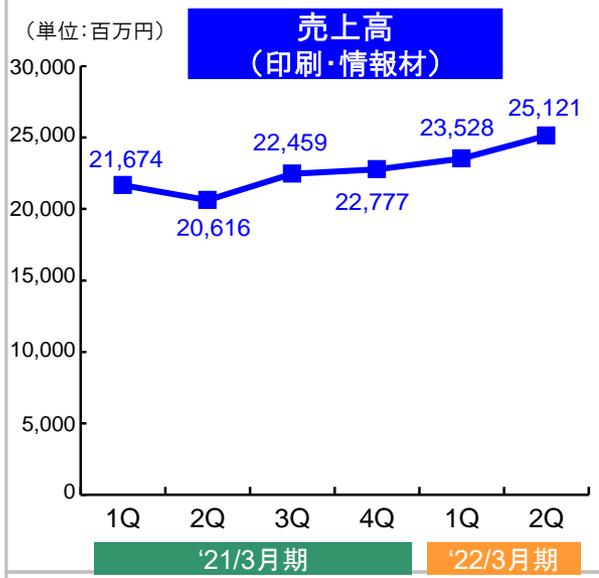
	'21/3月期 第2四半期 累計	'22/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	42,290	48,649	6,358 (15.0%)
産業工材 事業部門	12,947	15,589	2,642 (20.4%)
売上高 合計	55,238	64,239	9,001 (16.3%)
営業利益	▲934	1,150	2,085 (-%)

※2022年3月期第2四半期累計は収益認識会計基準適用後の金額となっております。増減額および増減率は参考値として記載しております。

※2022年3月期の期首より MACtac Americas, LLC の産業工材事業部門に関わる全ての製品を印刷・情報材事業部門へ移管しました。2021年3月期の実績は組み替えて記載しております。



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：化粧品や飲料キャンペーン用などの需要は低調

食品や家電、自動車、通販関連の需要が堅調

海外：米国、中国、アセアン地域において好調

収益認識会計基準の適用による売上高の減少額：6億円

➤ 産業工材事業部門

国内外ともに自動車用粘着製品やウインドーフィルム、装飾用フィルムなどの

需要が大きく回復したほか、通販向け装置も好調

収益認識会計基準の適用による売上高の減少額：3億円

2022年3月期第2四半期 電子・光学関連の概要①

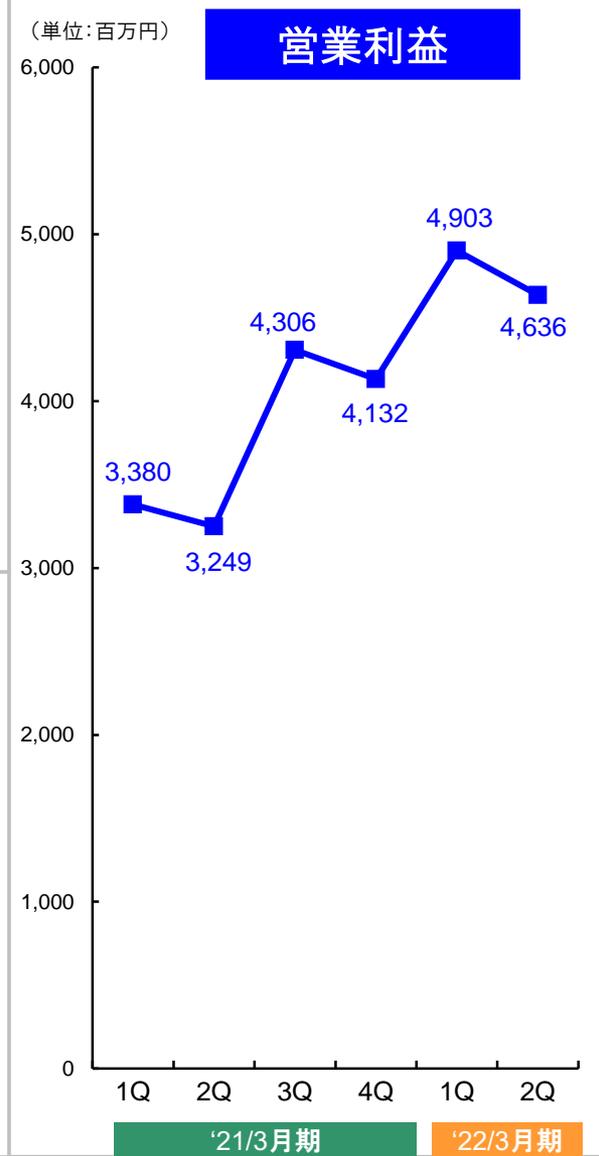
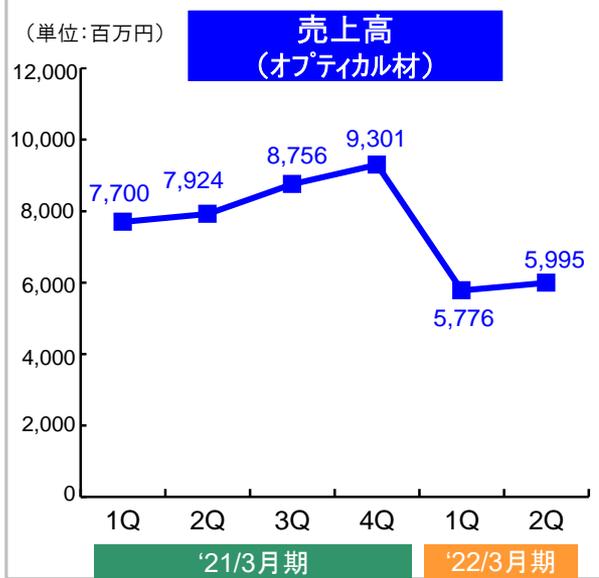
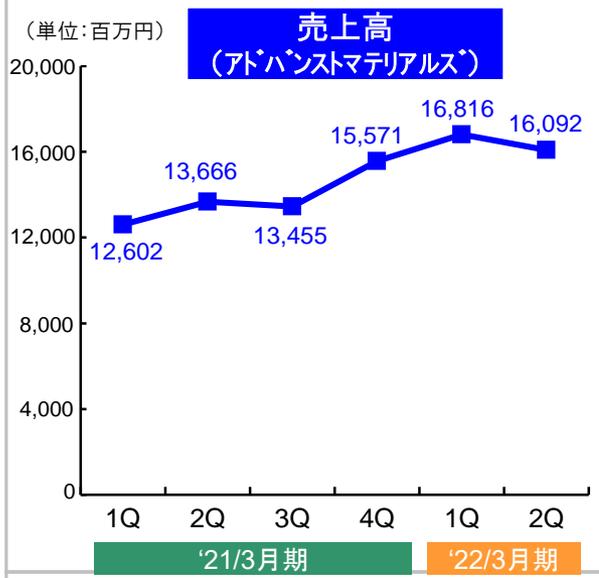
	'21/3月期 第2四半期 累計	'22/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	26,268	32,908	6,639 (25.3%)
オプティカル材 事業部門	15,624	11,771	▲3,852 (▲24.7%)
売上高 合計	41,893	44,680	2,787 (6.7%)
営業利益	6,629	9,539	2,909 (43.9%)

※2022年3月期第2四半期累計は収益認識会計基準適用後の金額となっております。増減額および増減率は参考値として記載しております。

※2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期の実績は組み替えて記載しております。



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープは5G対応のスマートフォンやカーエレクトロニクス、テレワーク拡大に伴うパソコンなどの需要増加により好調

収益認識会計基準の適用による売上高の減少額：軽微

➤ オプティカル材事業部門

光学ディスプレイ関連粘着製品は大型テレビやパソコン、スマートフォン用などの需要が増加したことにより堅調

収益認識会計基準の適用による売上高の減少額：50億円

2022年3月期第2四半期 洋紙・加工材関連の概要①

	'21/3月期 第2四半期 累計	'22/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

洋紙 事業部門	6,969	7,551	582 (8.4%)
------------	-------	-------	---------------

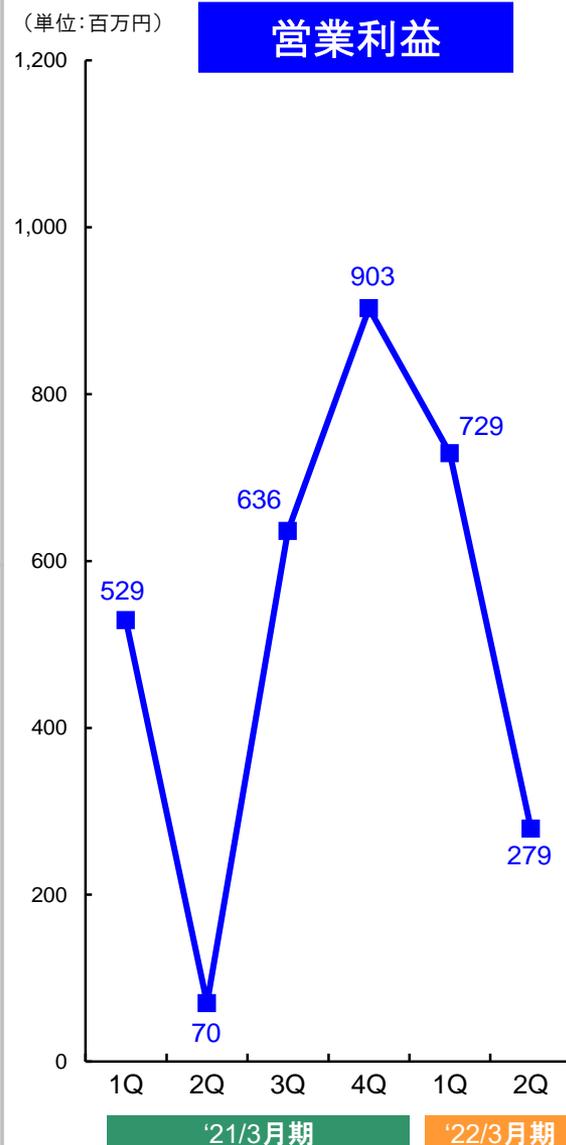
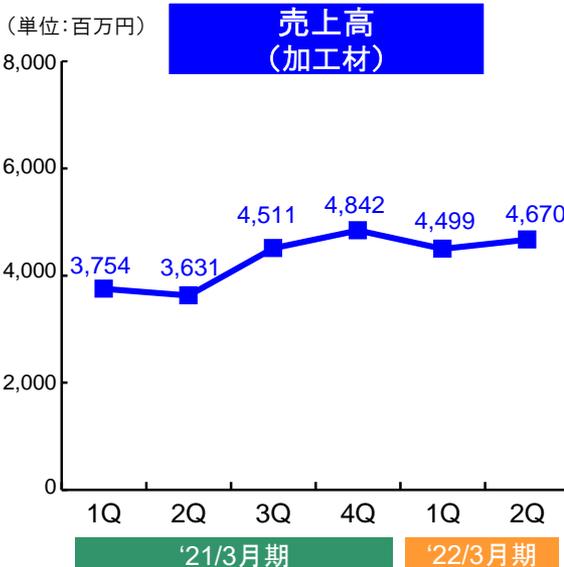
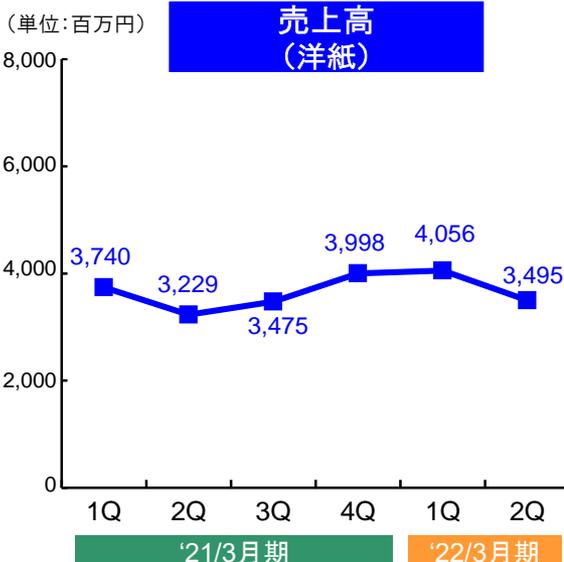
加工材 事業部門	7,385	9,169	1,783 (24.2%)
-------------	-------	-------	------------------

売上高 合計	14,354	16,720	2,365 (16.5%)
-----------	--------	--------	------------------

営業利益	599	1,008	409 (68.4%)
------	-----	-------	----------------

※2022年3月期第2四半期累計は収益認識会計基準適用後の金額となっております。増減額および増減率は参考値として記載しております。

※2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期の実績は組み替えて記載しております。



➤ 洋紙事業部門

主力のカラー封筒用紙は前年同期並み

クリーンルームなどで使用される工業用特殊紙やファストフード向け耐油耐水紙の需要が回復

収益認識会計基準の適用による売上高の減少額：3億円

➤ 加工材事業部門

合成皮革用工程紙は車両用の需要が大幅に回復

電子材料用剥離紙やスポーツ・レジャー用の炭素繊維複合材料用工程紙も順調

収益認識会計基準の適用による売上高の減少額：軽微

2022年3月期通期 連結業績予想①

(単位:億円)

	'22/3月期 上期実績	'22/3月期 下期予想	'22/3月期 修正予想	'22/3月期 当初予想	差異	'21/3月期 実績
売上高	1,256	1,294	2,550	2,400	150	2,359
営業利益	117	93	210	175	35	170
経常利益	122	93	215	175	40	168
親会社株主に帰属する 当期純利益	88	62	150	125	25	114

※2022年3月期予想は収益認識会計基準適用後の金額となっております。収益認識会計基準の適用による売上高の減少額は通期で120億円と見ております。

【想定為替レート】	'22/3月期 上期実績	'22/3月期 下期想定	'22/3月期 通期想定	'22/3月期 当初想定	'21/3月期 実績
円/US\$	108.45	111.00	110.00	105.00	106.43
円/ユーロ	130.46	130.00	130.00	125.00	121.97
円/WON	0.0969	0.0950	0.0960	0.0900	0.0906
円/中国元	16.76	17.00	17.00	16.00	15.42
円/台湾\$	3.88	4.00	3.90	3.70	3.62

2022年3月期通期 連結業績予想② 印刷材・産業工材関連

(単位:億円)

	'22/3月期 上期実績	'22/3月期 下期予想	'22/3月期 修正予想	'22/3月期 当初予想	差異	'21/3月期 実績
売上高						
印刷・情報材事業部門	486	514	1,000	956	44	875
産業工材事業部門	156	150	306	294	12	282
印刷材・産業工材関連	642	664	1,306	1,250	56	1,157
営業利益						
印刷材・産業工材関連	12	5	17	5	12	▲2

※2022年3月期予想は収益認識会計基準適用後の金額となっております。

※2022年3月期の期首より MACtac Americas, LLC の産業工材事業部門に関わる全ての製品を印刷・情報材事業部門へ移管しました。2021年3月期の実績は組み替えて記載しております。

➤ 売上高

●印刷・情報材事業部門

国内は、さまざまな規制緩和に伴い人や物の動きが活発化することによりシール・ラベル用粘着製品の需要が堅調
 海外は、米国のマックタックを中心に中国やアセアン地域で拡販を見込む
 収益認識会計基準の適用による売上高の通期減少額：13億円

●産業工材事業部門

ウインドーフィルムの需要が下期に入り減少
 収益認識会計基準の適用による売上高の通期減少額：5億円

2022年3月期通期 連結業績予想③ 電子・光学関連

(単位:億円)

	'22/3月期 上期実績	'22/3月期 下期予想	'22/3月期 修正予想	'22/3月期 当初予想	差異	'21/3月期 実績
売上高						
アドバンストマテリアلز事業部門	329	352	681	610	71	553
オプティカル材事業部門	118	113	231	221	10	337
電子・光学関連	447	465	912	831	81	890
営業利益						
電子・光学関連	95	85	180	153	27	150

※2022年3月期予想は収益認識会計基準適用後の金額となっております。

※2022年3月期の期首より 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期の実績は組み替えて記載しております。

➤ 売上高

●アドバンストマテリアلز事業部門

半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープは旺盛な需要に支えられ順調
収益認識会計基準の適用による売上高の通期減少額：軽微

●オプティカル材事業部門

下期に入り、大型テレビやパソコン、スマートフォン用の需要が減少
収益認識会計基準の適用による売上高の通期減少額：97億円

2022年3月期通期 連結業績予想④ 洋紙・加工材関連

(単位:億円)

	'22/3月期 上期実績	'22/3月期 下期予想	'22/3月期 修正予想	'22/3月期 当初予想	差異	'21/3月期 実績
売上高						
洋紙事業部門	75	75	150	142	8	145
加工材事業部門	92	90	182	177	5	167
洋紙・加工材関連	167	165	332	319	13	312
営業利益						
洋紙・加工材関連	10	3	13	17	▲4	22

※2022年3月期予想は収益認識会計基準適用後の金額となっております。

※2022年3月期の期首より 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期の実績は組み替えて記載しております。

➤ 売上高

●洋紙事業部門

主力のカラー封筒用紙をはじめ、総じて上期並み

収益認識会計基準の適用による売上高の通期減少額：5億円

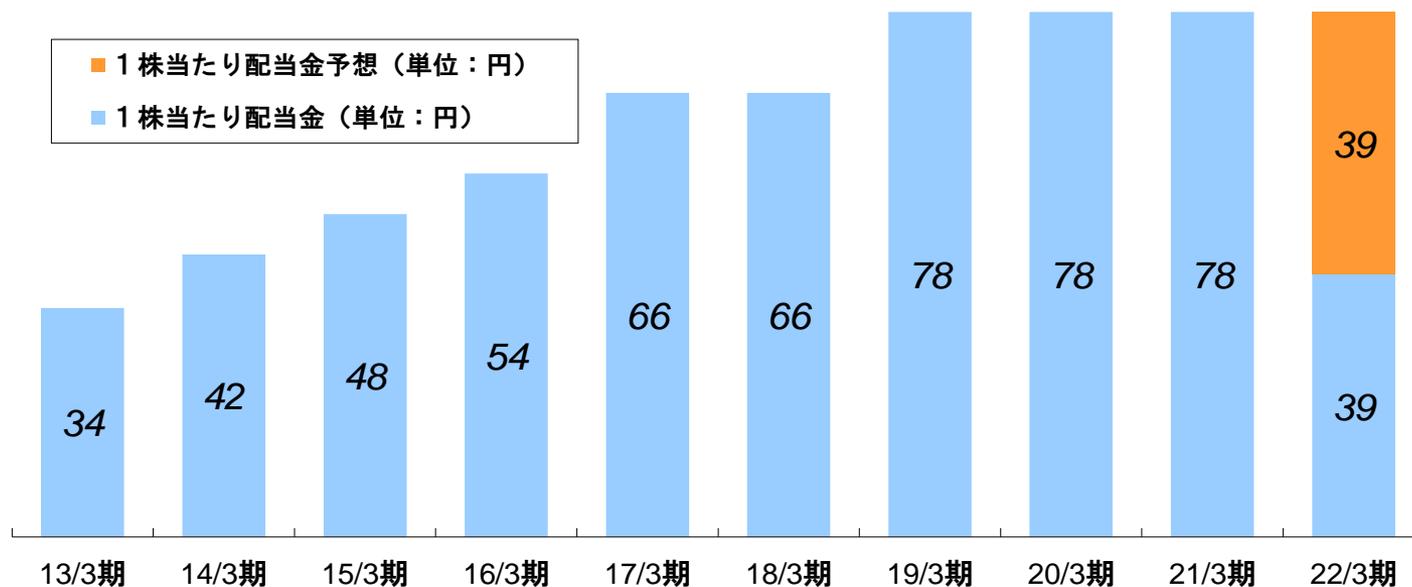
●加工材事業部門

下期に入り、電子材料用剥離紙や光学ディスプレイ用剥離フィルムの需要が減少

収益認識会計基準の適用による売上高の通期減少額：軽微

(基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	76.8	85.0	116.6	109.0	114.5	112.6	129.4	96.2	114.1	150.0
1株当たり当期純利益(円)	102.83	114.22	161.63	151.07	158.69	156.02	179.24	133.20	157.81	207.40
連結配当性向(%)	33.1	36.8	29.7	35.7	41.6	42.3	43.5	58.6	49.4	37.6

➤ 目的

株主還元の充実および資本効率の向上を図るため

➤ 取得に係る事項

- | | | |
|----------------|---|-----------------------|
| (1) 取得対象株式の種類 | : | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | : | 400万株（上限） |
| (3) 株式の取得価額の総額 | : | 120億円（上限） |
| (4) 取得期間 | : | 2021年11月9日～2022年8月31日 |

ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。